

⑤ チーム学習 ～儀礼的な話し合いで終わっていませんか？～

チーム学習とは？

グループで一緒に、探求、考察、内省を行うことで、自分たちの意識と能力を共同で高めるプロセスです。チーム学習が目指すのは、チームメンバー間の関係性の質を高めて、状況の共通理解や自分たちがチームであるという共通の基盤を築いた「合致（アラインメント）」の状態をつくることです。



話し合っても、お互いに遠慮して…。

引用：小田理一郎（2017）『学習する組織』入門



自分や組織・チームを振り返ってみましょう！

- 会議では、自分の意見を言っていますか？
- 互いの立場、状況、考えていることを確認して話し合うことを大切にしていますか？
- 自分のこだわっている部分を見つめ直して、よりよい結論を考えていますか？



質の高い対話を通してチームの力を高めましょう

話し方と聞き方の4つのレベル

質を高めるポイント

	話し方と聞き方の4つのレベル	質を高めるポイント
④ プレゼンシング (生成的な対話)	話し方：対話によって生じた価値観に基づいて話す。 聞き方：立場を超えて聞く。互惠的発展的に考える。	* 意思決定の種類や目的に応じて、②～④のバランスを検討する。
③ ダイアログ (内省的な対話)	話し方：自己内省しながら話す。 聞き方：共感的に聞く。	・ 自分自身の信念、規範等を手放し、新たな価値を創造する。
② ディベート (討論)	話し方：率直に意見を述べる。意見が衝突する。 聞き方：意見の善し悪しを判断する。	・ 見方を変え、意見の違う相手でも、相手の立場で共感的に話を聞く。
① ダウンローディング (儀礼的な会話)	話し方：礼儀正しく、素直な発言や本音は話されない。 聞き方：過去の経験から予測して聞く。	・ 自分自身のメンタルモデル（先入観や思い込み）を保留し、ありのままに聞く。

メンバーたちの話し方や聞き方が変わっていくことによって、話し合いの場そのものが進化していきます。ファシリテーターは、参加者が見方を変え、自身の信念や価値観、立場・役割など、自身が執着していることから離れて考えることができるように、話し合いのルールを設けたり、話し合いのプロセスについて様々な設計をしたりします。

＜対話の質を高めるために何をするか、書いてみましょう！＞



話し方や聞き方の「質」が結論の「質」に関係してきますね。